

防災だより

令和3年3月15日

No. 3

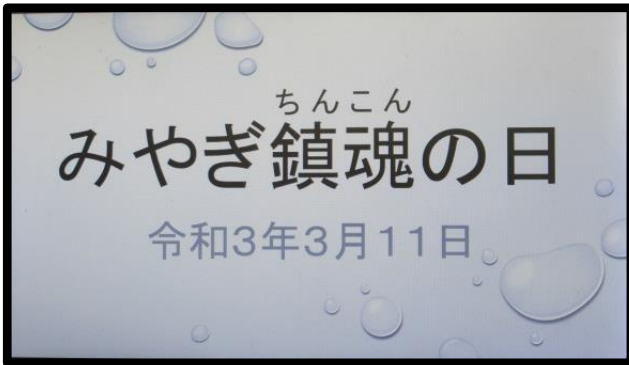
防災担当
文責（鈴木明美）

忘れない 3・11

今年もあの日の出来事を鮮明に思い出す一日を迎えました。最大震度7を観測した「東日本大震災」。沿岸部を襲った大津波は、多くの悲しみとともに、大きな教訓を私たちに与えました。10年経過し迎えた11日。あの日の出来事を忘れず、地に足を踏みしめて「生きる」ことの意味を確認する一日になったように感じました。

令和3年3月11日の朝、校長先生からお話をいただきました。テレビ放送にて資料を提示しながら、子どもたちに分かりやすくお話をしてくださいました。

(教室にてテレビ画面を写真に撮った資料の一部)



平成23年3月11日
10年がたちました

いま、
生きていることに
いみがある

水 電気 家族 学校
ゲーム
すべて

生きること

当たり前に行えること
当たり前にあることの
すばらしさ

まいにちを
生き生きと

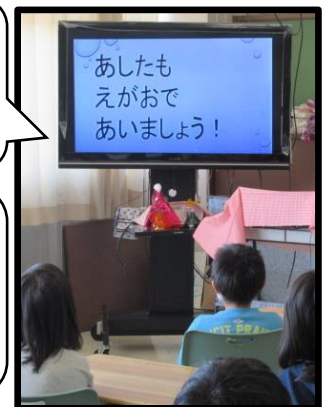


そして...午後2時46分

校庭で

「明日も笑顔で会いましょう！」と締めくくられました。

防災無線のサイレンの音とともに、静かに黙祷する児童と教職員。



5年教室で



6年教室で